

\*\*\*\*\*

## 絵本の広場

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 中央図書館と連携し、月1回程度幼児～小学生及び保護者を対象として読み聞かせ等を行い、本の楽しさを知る。
- 期 間 平成27年4月から平成28年3月までの原則毎月木曜日（計12回）
- 時 間 午後3時30分～4時、スペシャル（8月27日及び1月28日）は、午後3時～4時（計7時間）
- 対象・定員 幼児から小学生までの子どもと保護者・15人
- 参加者 参加延べ人数110人
- 講師 読書ボランティアグループ 十二の会
- 事業内容

回	月 日（曜日）	内 容
1 2	4月23日（木） ～ 3月24日（木）	絵本：「へんしんレストラン」ほか 紙芝居：「コンのじてんしゃのり」ほか 絵本短編：「なりたいものだらけ」ほか 大型絵本：「バルボンさんのおでかけ」ほか 大型紙芝居：「いただきバス」 エプロンシアター：「おたんじょうびおめでとう」 パネルシアター：「はらぺこあおむし」 手あそび：「いっぽんどんなおと？」

### ○ま と め

毎回一桁の参加数だったが、8月と1月のスペシャルは20名を超えた。1回参加してもなかなか継続しない中、1組の親子が12回すべて参加してくれた。10月の開催から、部屋をレク室から児童室に変えたところ、読み手と子どもたちが近くなり効果的であった。また、ロビーに来館している子どもに声をかけやすくなった。紙飛行機、ハロウインの飾り、クリスマスの折り紙プレゼントなど子どもたちが喜ぶ企画もよかった。お母さんから「ここで読んでもらった絵本を気に入り、図書館で借りました」という感想もあり、絵本への興味が広がっている様子がうかがえた。

講座開催から3年が過ぎ、今後はお願いするサークル、開催時間、会場、広報の方法等について検討していきたい。



\*\*\*\*\*

# こども体験講座 ～ミュージカルダンスにチャレンジ～

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 ミュージカルダンスを体験することで自己表現の楽しさを学ぶ。
- 期 間 平成27年7月30日(木)・31日(金)・8月1日(土)・2日(日)  
(計4回)×2クラス
- 時 間 Aクラス 午前9時30分～午前11時  
Bクラス 午前11時30分～午後1時 (計16時間)
- 対象・定員 市内在住の小学生・各クラス20人
- 参加者 31人 参加延べ人数207人
- 講師・事業内容

回	月 日 (曜日)	内 容	講師
1	7月30日(木)	ウォームアップ・曲の練習	RAD(ロイヤル・アカデミー・オブ・ダンス) 認定講師 福田 真紀子
2	7月31日(金)	ウォームアップ・曲の練習	
3	8月1日(土)	ウォームアップ・曲の練習	
4	8月2日(日)	ウォームアップ・曲の練習・ 発表	

## ○ま と め

ヨーロッパを中心に「オペラ座の怪人」「ノートルダムの鐘」「ライオンキング」など数多くの公演に出演し、現在、英国在住の講師が、帰国の際に子どもミュージカル体験講座を指導してくれた。

今年度は初めて連続4日間の実施を試みたが、最終日まで集中してレッスンができたので、よかった。初日は楽しく元気にレッスンしていたが、Aクラスの子どもたちは振り付けが難しくなるにつれ覚えきれなくなり、テンションが下がって行った。そこで、グループ分けをし、うまく踊れるBクラスの子を入れたところ、全員が自信を持って踊れた。最終日に保護者に来てもらい、成果を見てもらった。保護者も楽しそうに踊る様子を見て大変喜んでいた。



\*\*\*\*\*

# サマースクール

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

○開設の趣旨 夏休み期間に、ボランティアや市内公共施設等とも協力しながら青少年の体験学習の機会を提供する。

○期間・時間 平成27年8月20日(木)・29日(土) (計2回)  
午前10時～正午 (計4時間)

○対象・定員 市内在住の小学1年生～6年生・15人

○参加者 19人 参加延べ人数37人

○講師・事業内容

回	月日(曜日)	講座内容	講師
1	8月20日(木)	環境教室ペットボトル工作	サンケン電気(株)
2	8月29日(土)	ペーパークラフト	星と星空研究会

○ま と め

第1回は、省エネについて考えるというテーマで、太陽光エネルギーとLEDについて学んだ。それらを活用した工作として、ペットボトルの中にソーラパネルと充電電池とLEDを入れ、ホタルのように光る「ペットボタル」を作成した。LEDをソーラーパネルに差し込み充電電池を取り付ける作業は少し難しかったので、サンケン電気のスタッフの手を借りて行った。ペットボトルの中に入れるカードに、色ペンで好きな絵や文字を書いて装飾し、自分だけのペットボタルを完成させた。また、9色のLEDのペットボタルを使って、ハート形のモニュメントを作った。

第2回は、日本の標準時子午線(兵庫県明石市:北緯35°東経135°)における星座早見表を作り、メモリを月日に合わせると、その日にどんな星空が見えるのかを学んだ。



(第1回:LED電気)



(第2回:星座早見表作成)

\*\*\*\*\*

## こども新座のおやつ作り

～クリスマスミニカップケーキを作ろう～

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 小学生を対象に地元食材を使用しながら、おやつ作り（季節行事や名物等）を行う。
- 期 間 平成27年12月19日（土）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生・15人
- 参加者 21人
- 講師 ままごとキッチン 前田 純子 ほかアシスタント1人
- 事業内容 クリスマスミニカップケーキを作ろう
- まとめ

冬休み中の子どもを対象にした講座であったため、大変人気があり、定員を超える人数を受け付けた。

当日は講師のほかにアシスタント1人、公民館職員2人がサポートについてことで、段取りよく進められた。子どもたちはグループに分かれ、高学年の子どもを中心として、講師の説明をよく聞きながら役割を決めて、クリスマスらしい飾り付けのカップケーキを作った。その場で食べる子が多かったが、家にお土産として持ち帰る子もいた。

ケーキをオーブンで焼く間に、和風ミートスパゲッティを作った。ちょうどお腹がすく時間帯だったので、おいしく食べられ、家でもまた作りたいという声が多かった。



\*\*\*\*\*

## 夏休み子ども環境調査隊

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

○開設の趣旨 小学4年生～6年生を対象に、環境の大切さや尊さを知る体験学習を行う。

○期 間 平成27年8月25日（火）～27日（木）（計3回）

○時 間 午前9時30分～正午、26日は午前8時30分～午後4時10分  
（計12時間10分）

○対象・定員 市内在住の小学4年～6年生・30人

○参加者 24人 参加延べ人数68人

○講師 環境教育支援ネットワークきづき 荻原 洋志、櫻 博子

○事業内容

回	月 日（曜日）	内 容
1	8月25日（火）	開会式、3Rを学ぶ、環境チェックシート、エコの木制作①
2	8月26日（水）	館外学習「東京都水の科学館」見学 （東京都江東区有明3-1-8）
3	8月27日（木）	リサイクル工作、エコの木制作②、閉会式

○ま と め

3日間曇り又は雨の天気となったが、ほぼ全員が出席した。参加者は4班に分かれて受講し、講師2名のほかに大学生スタッフが各班1人配置され、子どもたちをリードして学びを助けた。

第1回は、リデュース（ゴミを減らす）・リユース（再使用）・リサイクル（再資源化）の3Rを学び、自分が環境にやさしい行動をしているかどうか、チェックシートで確認した。第2回は、「東京都水の科学館」を見学し、映像や実験などを通して、水の不思議さや大切さへの興味を深めた。第3回は、フィルムケースに発砲入浴剤と水を入れて蓋をして飛ばす「バブロケット」を作り、公民館駐車場で飛行実験を行った。また、受講前と受講後のエコ意識の変化を葉の形のカードに書いて模造紙に貼り、「エコの木」を制作して、まとめとした。



\*\*\*\*\*

# 日本文学講座 ～「更級日記」を学ぶ～

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 「更級日記」の世界を楽しむ。
- 期 間 平成27年7月4日～25日までの毎週土曜日 (計4回)
- 時 間 午後1時30分～3時30分 (計8時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・36人
- 参加者 41人 参加延べ人数130人
- 講師・事業内容

回	月日(曜日)	内 容	講師
1	7月4日(土)	平安文学の基礎知識	国文学研究者 棚木 恵子
2	7月11日(土)	「更級の日記」の基礎知識	
3	7月18日(土)	「更級日記」の原文を読む①	
4	7月25日(土)	「更級日記」の原文を読む②	

## ○ま と め

毎回、日本文学講座は人気が高く、定員を超えて受け付けることになった。

昨年講座で取りあげた「源氏物語」に関連して、今回は、源氏物語をはじめとする物語に憧れる作者・菅原孝標女すがわらのたかすえのむすめの、少女時代から人生の終わりまでの約40年を綴った回想録である「更級日記」を学んだ。平安女流日記文学の代表作の一つに数えられる「更級日記」はどのような物語なのか、源氏物語の浮舟などと照らし合わせながら、平安文学の基礎知識を学ぶことで、あらためて古典文学を読む楽しさを知り、受講生にも大変好評であった。



\*\*\*\*\*



# 七夕ロビーコンサート

## ～オカリナの音色に癒されて～

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

○開設の趣旨 日本四季を感じるイベントとして七夕ロビーコンサートを開催する。グランドピアノを活用し、地域の方に気軽に音楽を楽しんでいただく機会とする。

○期 間 平成27年7月5日(日)

○時 間 午後1時30分～3時 (1.5時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・70人

○参加者 73人

○講師 オカリーナ／大塚 聡 ピアノ／丹内 真弓



月 日 (曜日)	内 容
7月5日(日)	オカリーナとピアノの演奏 ～演奏曲目～ 野ばら トルコ行進曲 「天空の城ラピュタより」君をのせて たなばた 星に願いを
	ほか



○事業内容

○まとめ

公民館のロビーは決して音楽に最適な場所ではなかったが、身近な場所で気軽に最高の音楽を楽しむことができた。奏者は参加者がよく知っている曲を素晴らしいアレンジと心をゆさぶる演奏で提供してくれた。参加者から感動と感謝の気持ちでいっぱいになったとの声が多くあった。

また、世界で活躍している一流アーティストを招くに当たり、奏者・参加者に十分に楽しんでいただくため、職員が浴衣姿で案内をしたり、会場の雰囲気づくりに力を入れた。大変好評だったので、今後も続けたい。



\*\*\*\*\*

## 家庭教育学級企画準備会

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 地域の保護者及び教師と連携して開催する家庭教育学級講演会の企画準備会
- 期間 平成27年6月17日～平成28年1月27日までの水曜日  
(ただし、1月16日の講演会は土曜日) (計6回)
- 時間 午前10時～11時30分 (計8.5時間)
- 対象・定員 第五中学校、八石小学校、栗原小学校、野寺小学校、片山小学校の保護者・11人
- 参加者 11人 参加延べ人数43人
- 事業内容

回	月 日 (曜日)	内 容
1	6月17日 (水)	前年度の経過説明と本年度家庭教育学級について講師候補選出
2	7月 8日 (水)	講師決定と内容「テーマ」について
3	10月14日 (水)	ポスター・ちらし・保護者への通知文確認
4	12月16日 (水)	最終確認 (参加人数・保育・当日の役割分担等)
5	1月16日 (土)	家庭教育講演会準備及び講演会
6	1月27日 (水)	反省会

### ○ま と め

第五中学校及び同中学校区の小学校4校と中央公民館の共催事業である家庭教育学級講演会のための企画準備会を6月から計4回行った後、講演会を開催し、その後反省会を行った。企画準備委員は各校から2人選出してもらうことになっているが、今年度は3人選出してくれた学校が2校もあった。

今回初めて企画準備委員になった方ばかりであったが、講演会の準備についても意欲的に取り組み、分担の仕事を手際よくこなすだけでなく、人出が足りない仕事を手伝うなどしてくれたため、無事終了することができた。

反省会では「委員になったことで、とても良い経験ができた」「楽しかった」などの感想があり、また来年度に向けての意見もいただけた。

\*\*\*\*\*

## 5校合同・中央公民館共催 家庭教育学級講演会

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 地域の保護者及び教師と連携し家庭教育について学ぶ。
- 期 間 平成28年1月16日(土)
- 時 間 午後1時30分～3時30分 (2時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・120人
- 参加者 164人
- 保 育 30人(内未就学児15人・小学生15人)
- 講師・事業内容

回	月 日(曜日)	内 容	講 師
1	1月16日(土)	『子どもと心がつながる親子のコミュニケーション』～子どものやる気スイッチの入れ方や、怒りの感情を上手にあつかう方法など～	思春期子育て専門家・やる気スイッチマン 大塚隆司



### ○ま と め

第五中学校、八石小学校、野寺小学校、片山小学校、栗原小学校の保護者と中央公民館共催の家庭教育学級は、4回の企画準備会を経て、本番の講演会を迎えた。

講師は、子どものやる気を失わせるような言葉や言い方について具体例やユーモアを交えて話すとともに、親と子どもの心がつながるような言い方・やる気を出させる関わり方を分かりやすかった。参加者の心にとってもよく伝わったらしく、アンケートでも大変よかった・参考になったとのご意見を多数いただいた。企画準備会の反省会においても、講演会を聞いた方々から、「家庭で早速実践したところ、子どもとの関係がとてよくなった」という感想を多くいただいたとの報告を受けた。

今回、企画準備委員の提案により、保育の対象を小学生(1～3年生)まで広げたことにより、参加者が昨年よりかなり増えた。保育は、未就学児・小学生の2クラスに分けて保育サポーターを4人・2人(計6人)配置した。小学生は、トランプ、百人一首などで遊び、とても楽しかったようだ。



\*\*\*\*\*

## 初心者のためのエクセル講座

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 エクセル初心者を対象にエクセルの基本的な機能を学ぶ。
- 期 間 平成27年9月8日（火）～11日（金）（計4回）
- 時 間 午前9時30分～正午（計10時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤のWordで文章を作成できる方・15人
- 参加者 12人 参加延べ人数47人
- 講師 パソコン指導者ボランティアサークル・パソボラいるか 亀山 一夫
- 事業内容

回	月 日（曜日）	内 容
1	9月 8日（火）	エクセルの基礎知識 ほか
2	9月 9日（水）	データの入力 ほか
3	9月10日（木）	表の作成 ほか
4	9月11日（金）	グラフの作成 ほか

### ○ま と め

近年の応募者減少により他館では初心者のためのエクセル・ワード講座が減少する中での開催ではあったが、定員を超える申込みがあった（残念ながら、直前でキャンセルがあったため、参加者は12人となった。）。

時間的にも内容的にも大変充実した講座であったが、ほぼ全員が全日程出席し、意欲的に課題に取り組み、質問も多く出された。

講師が、参加者に購入してもらったテキストに沿って、分かりやすく丁寧な指導を行うだけでなく、パソボラいるかのスタッフ延べ17人が配置され、参加者一人ひとりの理解度に合わせた行き届いた対応をしてくれた。

アンケートの結果、講師・スタッフへの評価が高く、参加者の満足度は非常に高かった。次回はレベルアップ講座として「エクセル初級・中級講座」開催を望む声が多くあった。



\*\*\*\*\*

## スマートフォンの基本的な使い方講座

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨           スマートフォン初心者やこれから使用を考えている人を対象に、基本的な使い方、実生活で使える便利なアプリ、使用上の危険性及び災害時の利用方法などを学ぶ。
- 期                   間       平成28年3月9日（水）
- 時                   間       午前10時～正午（2時間）
- 対象・定員         市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者             20人
- 講師                N T T ドコモ   スマホ・ケータイ安全教室インストラクター  
鈴木千代ほか5人

### ○事業内容

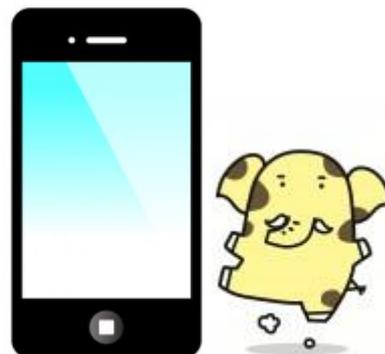
回	月 日（曜日）	内 容
1	3月9日（水）	・スマートフォンについて ・メールの発信・受信、インターネットの使い方 ・使用上の危険性や災害時の利用方法

### ○ま と め

参加者の多くは携帯電話（ガラケー）使用者かスマホ初心者であった。参加者は4人ずつ5班に分かれて、講師の説明を聞き、各班に配置されたインストラクター（計5人）にサポートしてもらいながら、「電話をかける」「カメラを使う」「撮った写真を添付してメールを送信・受信」「ネットを使って、乗換案内や時刻表の検索」などの基本的な操作を行った。また、携帯電話のときとは違った使用上の危険性や料金体系に関する説明があった。

参加者からは、「親切・丁寧な指導を受けられてよかった」「今後スマホを使ってみたい」との声が多かったが、「一度では分からないから、何度か受けて理解を深めたい」という再受講を希望する意見もあった。

本講座は、申込受付開始から30分で定員に達し、その後も申込みの電話が続いた。市民の要望が高い講座であることから、今後は2回の開催やタブレット講座などの開催を検討したい。



\*\*\*\*\*

## 人権を考える

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 当館利用者を対象に人権について学習する。
- 期 間 平成27年10月10日(土)
- 時 間 午前10時～10時36分 (36分)
- 対象・定員 当館利用者・112人
- 参加者 71人
- 事業内容 人権資料のDVD「あなたに伝えたいこと」の上映
- まとめ

中央公民館利用者懇談会時に、参加した利用者を対象に上映した。

DVDの内容は、結婚話を発端に、恋人や友人、家族などのかかわりから、同和問題が身近な問題であることを知るものだった。ネット上の情報のような不確かなものに左右されることなく、実際に人とふれあって、お互いを正しく知ることが、同和問題やすべての差別をなくしていくために重要であることが分かった。人権問題について、考えるよい機会となった。

\*\*\*\*\*

## 国際交流セミナー

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 異文化について理解を深め、国際交流を推進する。
- 期 間 平成28年3月11日(金)・12日(土) (2日間)
- 時 間 午前10時～正午 (計4時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20名
- 参加者 17人 延べ参加人数25人
- 講師 タイ文化・タイ語講師 小松パパッソン
- 事業内容

回	月 日 (曜日)	内 容
1	3月11日(金)	タイ文化を学ぶ
2	3月12日(土)	グリーンカレーを作る

### ○ま と め

第1回は、タイのあいさつや国旗の意味など、タイの文化や生活について学んだ。また、一人ひとりに合ったタイの衣装を講師に着付けしてもらい、タイの舞踊を体験した。

第2回は、タイの伝統的な料理「グリーンカレー」を作った。タイ米を使ったが、日本米のように洗わず、直接分量の水を入れて、炊飯器で炊いた。市販のグリーンカレーペーストを使ったので、簡単においしく作れた。普通のカレーとはイメージが違い、スープ状で、パプリカやナスなど色とりどりの野菜がたくさん入っていて、青唐辛子がピリリときいた味だった。辛いカレーを食べた後、タイの伝統的なお菓子「花かりんとう」を食べ、タイの味覚を楽しんだ。

参加者からは、「思ったより簡単でおいしく作れた。唐辛子の味の使い方が少し難しかったが、家でも作りたい」などと好評だった。



\*\*\*\*\*

## 子育て応援講座

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 幼児期の子を持つ保護者を対象に、親と子のかかわり方を学び、仲間づくりの機会とする。
- 期 間 平成27年9月11日(金)・18日(金)・25日(金)・10月7日(水)  
(計4回)
- 時 間 原則として、午前10時～正午 (計8時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の2歳から3歳幼児と保護者・11組
- 参加者 11組 参加延べ人数 40組
- 保 育 6人
- 参加費 1,300円(実習材料費)
- 講師・事業内容

回	月 日 (曜日)	内 容	講 師
1	9月11日(金)	今時の子育て事情 「孫育ての関わり方」	十文字学園女子大学 教授 山田 陽子
2	9月18日(金)	ぬいぐるみ作り	ハンドメイド講師 中村 裕子
3	9月25日(金)		
4	10月7日(水)	キャラクター弁当作り	管理栄養士 鳴嶋 廣美

### ○ま と め

第1回は、今時の子育て事情が昔(参加者の親の世代)の子育てとはずいぶん変わったように感じているかもしれないが、今も昔も変わらない「親子の関わり方」の中で育まれる子どものコミュニケーション力について学んだ。

第2～3回は、時間をかけて子どものおもちゃを手作りすることで、市販品とは違った温かみがあるおもちゃを作ることができた。また、親自身の心を落ち着かせる効果があり、一緒に製作することで親同士の交流も図れた。

第4回は、見た目が可愛く、栄養バランスも考えたキャラクター弁当を作った。弁当箱につめるのに思ったより時間がかかったが、手作りする楽しさや可愛らしく見せる工夫を学ぶことができた。



\*\*\*\*\*

## 保育サポーター研修会

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

○開設の趣旨 公民館等保育について必要な知識を学ぶとともに、スキルアップを図る。

○期 間 ①平成28年2月18日(木)・②19日(金)・③25日(木)又は④26日(金)  
(計4回)

○時 間 ①②10時～正午、③④午前9時～正午 (計10時間)

○対象・定員 保育サポーター登録者・29人

○参加者 24人 参加延べ人数58人

○講師・事業内容

回	月 日 (曜日)	内 容	講 師
1	2月18日(木)	子どもを預かるときの指導方法	市立第一保育園 園長 一戸 洋子
2	2月19日(金)	すぐに役立つ保育の学び ～子どもの気持ちに寄り添う 保育を目指して～	十文字学園女子大学 教授 山田 陽子
3	2月25日(木)	普通救命講習会	新座消防署片山分署隊員
4	2月26日(金)	～いざという時のために身に つけておきましょう～	

○ま と め

新座市の公民館・コミセンでは、幼児を持つ市民の方でも講座に参加できるよう保育付き講座を実施している。保護者や幼児にとって安心・信頼できる保育サポーターを養成するための研修会を毎年実施している。

第1回は、実際に保育園で行っている年齢に合わせた「遊び」を教えてもらった。また、母親と離れるときに泣いてしまう子どもの対応を具体的に説明してくれた。

第2回は、子どもの感性を持つ詩人・金子みすずの詩や子どもの感性の素晴らしさを取り上げた絵本を紹介し、一時的なかかわりとなる「公民館保育」においても、子どもの感性を大事にしたり伸ばしたりするような関わり方が重要との話だった。感性を伸ばす遊びとして、手遊びやわらべ歌を教えてもらった。

第3回・第4回については、どちらか1日の講習となる。修了証の有効期限は2年とされているが、何かあったときに落ち着いて対応できるよう、できるだけ毎年受講することが望ましいと感じた。乳幼児の救命法やAEDの使い方を復習できた。

\*\*\*\*\*

# かわいい！あみぐるみのペットボトルカバーを作ろう

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 常に持ち歩きするペットボトルカバーを作る。
- 期 間 平成27年6月12日～6月26日の毎週水曜日 (計3回)
- 時 間 午後1時30分～3時30分 (計7時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 16人
- 参加者 1,200円 (材料代)
- 講師 あみぐるみ作家 市川 みゆき
- 内 容

回	月 日 (曜日)	内 容
1	6月12日 (水)	ペットボトルカバーの底と側面を編む
2	6月19日 (水)	紐と編み玉を作る
3	6月26日 (水)	鼻と耳を編み、鼻、目、耳をつける

## ○ま と め

15名の定員に対し、16名の応募があった。講師がNHK「すてきなハンドメイド」の出演の際に紹介した4種類のかわいい動物のペットボトルカバーを、本講座で指導してくれたため、参加者に大変好評で全員が作製に集中していた。また、全員がカギ針編みの経験者であることから、比較的順調に作業を進めることができた。早い人は、材料を購入し、2～3種類の作品を完成させていた。



\*\*\*\*\*

## 男女共同参画合同セミナー企画準備会

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 性別にとらわれることなく、一人ひとりの個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を目指して、中央、野火止、栄、東北の4館合同セミナーを企画する。
- 期 間 平成27年7月4日・25日、8月8日、平成28年3月5日の土曜日（計4回）
- 時 間 午前10時～正午（計8時間）
- 参加者 9人 参加延べ人数29人
- 事業内容

回	月 日（曜日）	内 容
1	7月 4日（土）	セミナーの日程、セミナー案について
2	7月25日（土）	セミナーの決定について
3	8月 8日（土）	テーマ、広報（ポスター・チラシ）について
4	3月 5日（土）	報告会

### ○ま と め

新座市は平成12年に、全国で4番目、県下初の「男女共同参画推進条例」を施行し、平成13年に「男女共同参画都市宣言」を行っている。公民館においては、平成19年度から4館合同で男女共同参画合同セミナーを開催しているが、多くの方に分かりやすく男女共同参画を啓発するために、企画準備委員から意見をいただきながら企画している。

企画準備委員（計4人）は、前年度同様、各公民館推薦の市民の方に協力していただき、男性も女性も楽しく学べるセミナーを検討した結果、「狭山茶のおいしい淹れ方」「ピザ作り」「整理収納術」「男性の職場である林業で、女性の活躍の場を広げた女性の体験談」に決定し、全体のテーマを「聞いて学んですっきりさわやか 心のハッピー術」とした。

また、開催日時は、2月の毎週土曜日の午前中とし、広報の方法や内容についても意見をいただいた。

なお、報告会では、参加者数やアンケート結果の報告を行い、セミナーに参加した企画準備委員から感想をいただいた。

\*\*\*\*\*

## 男女共同参画合同セミナー

～聞いて学んですっきりさわやか 心のハッピー術～

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

○開設の趣旨 男女共同参画社会の実現に向けた啓発として、主に今まで関心を持っていなかった市民を対象に、性別に関係なく楽しく学べる内容のセミナーを中央・野火止・栄公民館及び東北コミセンの4館合同で開催する。

○期 間 平成28年2月6日～27日までの毎週土曜日 (計4回)

○時 間 午前10時～正午 (計8時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人(第2回のみ20人)

○参加者 27人、20人、29人、28人 参加延べ人数104人

○事業内容

回	月 日(曜日)	内 容	講 師
1	2月 6日(土)	狭山茶を飲んで、心も体も健康に	入間市・茶人～chat' T～
2	2月13日(土)	ちょっとイタリア気分でピザ作り	料理研究家 田口 清美
3	2月20日(土)	家族の中の整理収納術	ナチュラルライフ研究家・佐光 紀子
4	2月27日(土)	林業における女性の活躍 【公開講座】	東吾野女性林研ときめ木会長・栗原 慶子

○ま と め

誰もが気軽にセミナーに参加してもらいその中から、男女共同参画を意識してもらうことを目的に開催した。

第1回は、入間市の特産物「狭山茶」を生産する若手後継者グループから、おいしいお茶の淹れ方・味わい方を学んだ。第2回は、本格的なピザを生地から作り、味わった。第3回は、家族それぞれに大切にしているものがあって片付けられない現実に、発想を変えて向き合う方法を学んだ。第4回は、かつて男性の職場だった「林業」で女性の活躍の場を広げた講師の実践体験談を聞き、活動を継続することの大切さを学んだ。

連続講座ではあるが、1回のみ申し込みを可能にしたため、参加者は各回によって異なっていた。また、保育付きにしたため、第2回に保育利用者が5人、乳児を連れての参加が1人あり、男性の参加(1人)もあった。



\*\*\*\*\*

## 初心者のための俳句入門

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 俳句初心者を対象に、俳句の成立や決まりごとなどを理解してもらい、俳句を詠めるようにする。
- 期 間 平成27年11月10日（火）～12月1日（火）（計4回）
- 時 間 午後1時30分～3時（計6時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人
- 参加者 32人 参加延べ人数100人
- 講師 跡見学園女子大学講師 三浦 隆
- 事業内容

回	月 日（曜日）	内 容
1	11月10日（火）	「俳句って何だろう」 俳句の成り立ちや決まりごとを学びます。
2	11月17日（火）	「生活の中に生きている俳句」 「花」「月」の本当の意味を学びます。
3	11月24日（火）	「ハワイにも俳句がある」 ハワイの俳句を考えることにより、日本の俳句が見えてきます。
4	12月 1日（火）	「本当の新しさの発見、これからの生活に向けて」 古典を考えることにより、生活に新しさが見えてきます。※ 俳句の互選、まとめを行います。

### ○ま と め

応募が少ないと考えていたが、チラシの配布等の効果により定員を超える応募があり、会場の余裕もあったため受け入れた。

講師のウィットに富んだ飽きさせない講義により、参加者の出席率もよく、概ね盛況に終わった。



\*\*\*\*\*

## CO<sub>2</sub>削減 緑のカーテンで夏を涼しく

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

○開設の趣旨       ゴーヤ等でグリーンカーテンを作る方法を学び、環境対策について考える。

○期           間       平成27年6月17日（水）

○時           間       午後2時～4時   （2時間）

○対象・定員       市内在住又は在勤の方・15人

○参加者         14人

○講師           環境まちづくり地域協議会 inにいざ代表 櫻 博子ほか2人

○事業内容

回	月 日（曜日）	内 容
1	6月17日（水）	(1) 地球温暖化が及ぼす影響と環境対策について (2) グリーンカーテン作成方法

○ま と め

最近の気象状況を例に挙げて地球温暖化が及ぼす影響について分かりやすい説明があり、地球温暖化を抑えるためにはCO<sub>2</sub>削減がポイントで、一人ひとりがムダなく無理なく、快適なエコライフに取り組むことが大切とのお話があった。その取組の一つとして、ゴーヤでグリーンカーテンを作ることが講師から提案され、ゴーヤを植える土壌づくりから植栽、摘芯、摘み取りなど、育て方の具体的な説明があった。

受講者からは、「追肥の方法」「土の作り方」「うどんこ病の対策」「種の植え方」など、10数件の質問があった。

最後に、受講者がグリーンカーテン作りを実践できるよう、ゴーヤの苗が1人2株ずつ配布された。

なお、本講座については、中央・栄・栗原・大和田・西新の5館で開催したが、広報・ポスター・ホームページ等による募集は、1つにまとめて行った。



\*\*\*\*\*

## 秋の自然美術館

### ～落ち葉でつくる素敵なランチョンマット～

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 落ち葉や押し花を使い、ランチョンマットやしおりに作る。
- 期 間 平成27年11月24日(火)・25日(水) (計2回)
- 時 間 午前10時～正午 (計4時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人
- 参加者 21人 参加延べ人数31人
- 講師 妙音沢葉っぱの杜美術かん館長 石山 努
- 事業内容

回	月 日 (曜日)	内 容
1	11月24日(火)	講話、実演、作品発表
2	11月25日(水)	講話、実演、作品発表

#### ○ま と め

講師が用意した60種類を超える押し花・押し葉を、参加者が自由な発想で1枚の絵のように配置してラミネート加工し、しおりやランチョンマットを作成した。ラミネート加工することにより、色が鮮明になり、時間が経っても色あせない作品ができる。1回のみでの参加の方が半数近くいたが、2時間あれば、しおり・ランチョンマットのどちらかが作れたため、十分楽しめたようだ。

作品の完成後、参加者たちは作品を見せながら、「どのような思いで作り、誰にあげるのか」を発表しあった。「素敵な作品ができて嬉しい」「楽しい時間が過ごせた」という声が多かった。

なお、応募は定員に達しなかったが、テーブルに並べた押し花等を選ぶことやラミネート加工を行うことは、一度に多人数ではできない作業であるため、募集人数は15人～20人ぐらいと思われる。

また、今回は対象を成人としたが、乳幼児を持つ保護者や子どもも楽しめる内容であるので、次回は対象を広げることも検討したい。



〈しおりの作品例〉

\*\*\*\*\*

# 夏の夜の少しこわいお話し

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 暑い夏の夜、日本に伝わる民話・怪談の朗読劇を家族で楽しむ。
- 期 間 平成27年8月22日（土）
- 時 間 午後5時～6時30分（1・5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の親子・60人
- 参加者 78人（子どもの人数 37人）
- 講師・事業内容

回	月 日（曜日）	内 容	講師
1	8月22日（土）	1 話劇 ・化け物使い ・先まわり ・妙音沢 ・こしぬけゆうれい ・耳なし芳一 2 お楽しみ花火会	話劇みのり 代表 山田 順子

## ○ま と め

今年で3回目となり、例年日曜日に開催していたが、選挙との関係で土曜日に開催した。申し込みが定員に達した後も問い合わせが多く、当日受付者も受け入れ、会場は満員状態だった。広報、ポスター、ホームページなどのほかに、夏休み子ども講座の案内チラシを近隣の学校に配布したことも功を奏したと思われる。

会場に暗幕をはって雰囲気を作り、物語に合わせた衣装を着て、真に迫った演技に、子どももおとなも物語に引き込まれていた。

話劇の後、第二駐車場で花火をしたり、ヨーヨーを配るなどして大好評だった。年々、参加者が増えており、来年も開催してほしいとの要望が多かった。



\*\*\*\*\*

## 人形劇フェスティバル企画準備会

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 市内及び近隣で活動する人形劇グループの合同公演を通じ、子どもたちの情操を高める。
- 期 間 平成27年6月4日（木）、10月1日（木）（計2日間）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対 象 市内で活動する人形劇団
- 参 加 者 10人（人形劇あおむし、人形劇サークルたんぽぽ、人形劇どんぐりっ子、人形劇団ラ・ペ、おはなしカスタネット、おはなしオルゴール、ふろしき座）

### ○ま と め

#### 〈決定事項〉

- ① 開催日 11月22日（日）午前10時開演
- ② 集合時間 11月21日（土）午後1時（舞台準備） ※当日は午前9時集合
- ③ 会場割
  - (ア) レクリエーション室（大きい子）→あおむし、たんぽぽ、どんぐりっ子、ラペ、ふろしき座
  - (イ) 視聴覚室（小さい子）→カスタネット、オルゴール
- ④ 広報活動
  - (ア) ポスター、チラシの作成及び配布 ポスター80枚、チラシ1000枚
  - (イ) ポスター、チラシは、人形劇あおむしが作成にあたる。
  - (ウ) 人形展示 11月上旬にガラスケース（1ケース）を中央公民館に展示する。黒模造紙（2～3枚）を用意する。
  - (エ) フェスティバル開催までの期間中、中央公民館が大看板を設置する。展示の看板ポスターは、人形劇団で用意する。
- ⑤ その他
  - (ア) 演目を決定したら中央公民館に提出する。
  - (イ) 順番は、ラペ→あおむし→どんぐりっ子→ふろしき座→たんぽぽの予定
  - (ウ) たんぽぽは、舞台、照明を借りてくる。
  - (エ) 公民館で用意する物は、デッキ、ピンマイク式、延長コード、電子ピアノ、暗幕、ガムテープ、机（1）、パイプイス（3）、畳（視聴覚室、レク室用）
  - (オ) 折り紙、10月1日に用意する。
  - (カ) 和室のお茶を用意する。
  - (キ) お昼のお弁当（人形劇団の方で用意）

\*\*\*\*\*

## 第 2 2 回人形劇フェスティバル

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 市内及び近隣で活動する人形劇グループの合同公演を通じ子どもたちの情操を高める。
- 期 間 平成27年11月22日(日)
- 時 間 午前10時～午後0時10分(2時間10分)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方(子どもを含む)・100人
- 参加者 112人
- 講師・事業内容

回	月 日 (曜日)	演 目 (団体名)
1	11月22日(日)	部屋 レクリエーション室：大きい子対象 ・かえるのぼうけん(たんぽぽ) ・ふたごのうさぎ(ラ・ペ) ・くわず女房(ふろしき座) ・さるかに昔ばなし(あおむし) ・きょうはなんてうんがいいんだろう(どんぐりっこ)
		部屋 視聴覚室：小さい子対象 ・ぽんぽこぽん(おはなしオルゴール) ・ひつじ!!(おはなし会カスタネット)

### ○ま と め

当日、舞台機材搬入用の駐車スペース6台分を第一駐車場に確保したため、機材の搬入がスムーズにいった。

小さい子の部屋、大きい子の部屋ともに、演目がバラエティにとんでいて、大人から小さいお子さんまで劇に集中していて、一緒に歌ったり踊ったりするなど、とても楽しんでいる様子がうかがえた。アンケートでも「毎年楽しみ」「子どもと一緒に来る間は親子で参加したい」という声が多く、夏休みの一行事として地域に浸透してきているようだ。



フェスティバル終了後には、公民館出口付近にゾウキリンが来ていたので、子どもたちは大喜びで、一緒に写真を撮っていた。

なお、感想の中には「声が聞き取りにくい」「前列に子ども席があるとよい」という意見があり、来年度検討したい。

\*\*\*\*\*

## フリースペース企画準備会

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

○開設の趣旨 障がいのある人もない人もともに地域で豊かに暮らす、障がいのある人との出会い・ふれあいの場として1992年にスタート。様々な事業の企画・立案をしている。

○期 間 平成27年4月22日(水)～平成28年3月23日(水)  
(計5回)

○時 間 午後2時～3時 (計5時間)

○対 象 市内在住又は在勤の方

○参加者 8人 参加延べ人数 38人

○事業内容



回	月 日 (曜日)	内 容
1	5月13日(水)	館外学習バスハイクについて コンサートの出演者について
—	5月26日(火)	館外学習バスハイク実施
2	6月10日(水)	バスハイク報告会
3	9月 9日(水)	来年度の館外学習バスハイクについて 新春ジャズロビーコンサートについて
4	11月 9日(土)	新春ジャズロビーコンサートの準備について 来年度のバスハイクについて
—	1月 9日(土)	新春ジャズロビーコンサート開催
5	3月23日(土)	来年度のバスハイクについて

○ま と め

企画集団・フリースペースと連携して、障がいのある人もない人もともに楽しめる事業を合同企画し、バスハイクやコンサートの内容について、障がいのある方も気軽に参加し楽しめる内容とした。

5月に開催したバスハイクでは、バス内で参加者が交流できるレクリエーションを取り入れたり、1月に開催した新春コンサートでは休憩中に手作りのお汁粉でもてなすなどの積極的な提案があり、参加者に大変喜ばれた。

\*\*\*\*\*

# フリースペース新春ロビーコンサート

～ハーモニカとギターで楽しむジャズコンサート～

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

○開設の趣旨 体験事業を通して、障がいのある人もない人もともに交流する場とする。

○期 間 平成28年1月9日(土)

○時 間 午後1時30分～4時(2.5時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・60人

○参加者 70人

○講師 中山 ふじ枝/ハーモニカ 太田 希/ギター

○事業内容 ハーモニカとギターのジャズ演奏

回	月 日 (曜日)	内 容
1	1月9日(土)	《演奏曲目》 第1部 1. 不思議の国のアリス 2. スターダスト 3. イパネマの娘 4. In the Wee small Hours of the Morning 5. Mack the Knife (休憩) 第2部 1. ギターソロ 2. ベサメ・ムーチョ 3. In a Sentimental Mood 4. A列車で行こう

## ○ま と め

企画集団・フリースペースとの合同企画のコンサートであるが、新春に開催するのは今年で3回目である。新年となってもまもなくの事業であり、限られた時間の中で新春らしい飾り付けなどの準備を行った。

ハーモニカとギターのジャズコンサートは昨年に引き続き2回目となるが、約半数はリピーターであった。ジャズといってもハーモニカとギターの演奏は演奏者の人柄が表れていて、大変耳に心地よく癒されるものだった。

アンケートには、「いつものロビーが素敵な会場になってびっくり、ハーモニカの技ってすごい。落ち着いたリズム、ジャズの楽しさに酔いました。会場の雰囲気も楽しく、お汁粉もおいしい。皆さんにもてなされたよい正月です。大人のコンサートありがとう」など。休憩に準備したお汁粉が好評だった。

\*\*\*\*\*

# フリースペースバスハイク

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 体験事業を通して、障がいのある人もない人もともに交流する場とする。
- 期 間 平成27年5月26日（火）
- 時 間 午前8時30分～午後4時（7.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人
- 参加者 32人
- 参加費 150円（入園料他）
- 事業内容

回	月 日（曜日）	内 容
1	5月26日（火）	都庁とNHKスタジオパーク見学

## ○ま と め

昨年までバスと福祉カーの2台を使用していたが、今年度はフリースペースが、県からリフトカー付き福祉バス「おおぞら号」を借りて、バス1台で行くことができたため、車中でも参加者全員の交流が図れた。

当日は晴天に恵まれ、都庁の展望台からスカイツリーを始めとする都内の風景が一望できた。昼食は都庁内の職員食堂に集合し、リーズナブルで種類の豊富なメニューの中から各自好きなものを食べた。NHKスタジオパークでは、生放送の見学や連続ドラマの「まれ」「花萌ゆ」などの舞台場面の体験ができた。また、帰りのバスの中では、フリースペースが主導して、ビンゴゲーム（景品付き）をしたり、懐メロを歌ったり、楽しく過ごした。初めての参加者も多かったが、とても満足していた。



\*\*\*\*\*

# 邦楽コンサート ～日本文学を奏でる～

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

○開設の趣旨 邦楽を聴き、日本の音楽と言葉の美しさを再発見し、豊かな心を養い文化を育む。

○期 間 平成28年2月28日（日）

○時 間 午後1時30分～3時30分（2時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・200人

○参加者 175人

○講師 坂田美子（琵琶）、稲葉美和（箏）、坂田梁山（尺八）

○事業内容

回	月 日（曜日）	内 容
1	2月28日（日）	プログラム 1 祇園精舎（作曲/坂田美子、編曲/坂田梁山） 2 春麗無常～平家物語より祇王のくだり～ （作詞/小川夏葉、作曲/坂田美子、編曲/坂田梁山・稲葉美和） 【休憩15分】 3 十三夜～樋口一葉「十三夜より」～（作曲/稲葉美和） 4 泣いた赤鬼（作/浜田廣介、作曲/稲葉美和・加藤武雄、挿入歌作詞/坂田美子） 5 鮎かつぎ唄（民謡）（補詩・補曲・編曲/ヤドランカ）

○ま と め

ふるさと新座館ホールを会場として開催し、今年で4回目となる。今年度は、「平家物語」と「十三夜」が主であったが、出演者3人の演奏は物語が見えてくるような表現力で、会場を感動に包みこんだ。アンケートの結果から、参加者の評価も感動と満足度100%であり、「こんなにすばらしい演奏を新座で聴けるなんてすごいです」「感動で涙が止まらなかった」「物語がわかりやすく、演奏の技術が素晴らしい」との声が多く寄せられた。



\*\*\*\*\*

## ソープカービングに挑戦

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨      タイの伝統技術のソープカービングに挑戦する。
- 期            間      平成28年3月2日（水）
- 時            間      午前9時30分～正午      （2.5時間）
- 対象・定員      市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者          20人
- 参加者          1300円（材料代）
- 講師            ソープカービング講師 智美
- ま            と            め

癒しの講座として、飾ってよし・香りよし・使ってよし・プレゼントにも良しの、タイの伝統手工芸「ソープカービング」に挑戦してもらった。専用ナイフを使って石鹸にリボンと花の形を彫っていくことは、初めて体験する人にとって削ることに勇気が必要で、初めは慎重に削っていたが、だんだん手が慣れて、時間内に作品を完成させることができた。かわいい自分の作品に大変満足し、中には今後もカービングのいろいろな形に挑戦したいという方もいた。



\*\*\*\*\*

# 実年セミナー

\*\*\*\*\*

〈中央公民館〉

- 開設の趣旨 50歳以上の方を対象に学習を通して、生きがいと豊かに過ごすヒントを学ぶ。
- 期 間 平成27年9月2日～9月16日までの毎週水曜日と9月26日の土曜日 (計4回)
- 時 間 午前10時～正午 (計8時間)  
※公開講座は午後1時30分～3時
- 対象・定員 市内在住又は在勤の50歳以上の方・30人
- 参加者 32人 参加延べ人数258人
- 講師・事業内容



回	月 日 (曜日)	内 容	講 師
1	9月 2日(水)	大きな声で笑って、歌おう！	東邦音楽大学特任准教授・西田康子
2	9月 9日(水)	心も体もリフレッシュ かんたんヨガ	特定非営利活動法人自己尊重プラクティス協会代表幹事・手塚千砂子
3	9月16日(水)	陶芸に挑戦 「さしみ盛り皿を作る」	どろんこガーデン・陶芸家 佐原朋子
4	9月26日(土)	【公開講座】津軽三味線ライブ～聴いてけへ…津軽の心～	保村雪山ほか2名

## ○ま と め

思っていたより申込みが多く、早めに定員に達した。第1回は、高齢者になると家ではあまり声を出さないことが多くなるので、懐かしの歌をおもいきり大きな声で楽しく歌うことを目的とした。第2回は、自分を褒めることにより脳と体を活性化させた。第3回は、土をこね自分だけの皿を作る楽しみを感じてもらった。第4回は、耳から日本の音色を聴き、故郷を思いだし、心を癒してもらうことを目的とした。各回とも多方面から心と体に刺激を与えるよう内容を工夫した。アンケート結果では、ほぼ全員が満足してくれていたようだ。

なお、第2回は、台風の影響により大雨で欠席が多いと覚悟していたが、24人が参加した。4回目も一般申込みが131名と多く、大勢の方に喜んでいただいた。



(陶芸作品を手に)



(津軽三味線ライブ風景)